

平成26年度 復興庁「新しい東北」先導モデル事業「風景と心の修景および創景事業」イベント

「風景と心の復興」

シンポジウム・生演奏による映像上映「よみがえる大船渡」

2014年

10月24日(金)

16:30-19:15 (開場16:00-)

会場:丸ビル内 7階丸ビルホール

(藝大アーツイン丸の内2014 開催期間)

〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1

参加無料

16:30-18:30 (開場16:00-)

シンポジウム「風景と心の復興」

16:30-17:00 本事業の取組みについて

伊東 順二(東京藝術大学 社会連携センター特任教授)

山崎 芳男(早稲田大学 名誉教授)

平 諭一郎(東京藝術大学 社会連携センター特任講師) ほか

17:00-18:30 シンポジウム「風景と心の復興」

登壇者:隈 研吾(建築家・東京大学教授)

今野 洋二(大船渡市教育委員会教育長)

宮廻 正明(日本画家・東京藝術大学大学院 美術研究科教授)

坂本 英紀(NPO法人20世紀アーカイブ仙台 理事長)

安田 玲美(ORIENTAL DESIGN 総経理/NPO法人 北いわて未来ラボ 理事)

コーディネーター:伊東 順二

以前の美しい風景の多くを失ってしまった東北はこれからどのように再生していくのでしょうか。今こそ「新しい東北」と日本を創造できるチャンスではないでしょうか—

本事業における被災地でのふるさと再生・創造と、復興の未来形についてシンポジウムを行います。

18:45-19:15

生演奏による映像上映「よみがえる大船渡」

「よみがえる大船渡」上映

制作:三好 大輔(映像作家・東京藝術大学非常勤講師)

作曲:上水 樽 力(東京藝術大学大学院音楽音響創造研究分野 修士2年) 生演奏

ヴァイオリン:田中 李々(東京藝術大学大学院音楽研究科器楽専攻 修士2年)

チェロ:成田 七海(東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻 卒業生)

ピアノ:林 そよか(東京藝術大学大学院音楽音響創造研究分野 修士1年)

音響:辻 かよ子(東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 学部2年)

長島 千尋(東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 学部生)

かつての大船渡が映っている昔のフィルムを収集し、藝術作品として再編集したショートムービーを、東京藝大現役学生・卒業生による生演奏と共に上映します。

「風景と心の修景および創景事業－共時空体験的ふるさと再生と創造」



「風景と心の修景および創景事業」は失われた故郷の風景をたくさんの断片的な記録から芸術表現作品として再生しその思い出をみずみずしく保っていこうという企画です。心の中に残る風景は私たちの文化の基盤です。つらい時間の向こうにあったのは長い歴史に育まれた美しい文化と自然の調和でした。その記憶を生き生きと蘇らせることで皆さんとともに新しい風景とふるさとの創造にもヒントと貢献を提供したいと思っています。

東京藝術大学社会連携センター
特任教授 伊東順二

<p>風景の収集事業</p>	<p>－東北地方における風景アーカイブの創造</p> <p>東日本大震災における災害において最も留意されるべきは物理的な破壊に伴う風景と記憶の損失です。その記憶の記録を、美術（スケッチ・ドローイング等）、音楽（作曲・パフォーマンス等）、映像（映像・画像）を網羅してアーカイブしていきます。</p>
<p>風景の修景事業</p>	<p>－アーカイブ化された記録をもとにした風景の再生</p> <p>収集した風景をもとに静止画的な再生ではなく、時間的な推移と日常的な広がりを持つ風景の時間的、立体的な再現を行い、それぞれの世代が持つ「思い出」とリンクできる作品を制作する修景事業を行います。津波により消去された風景を視覚的に再現するだけでなく、日常生活から採集された音源や映像を立体的に再現することで、個々の記憶と直接的に共感しあい、次世代の子供たちに伝えていく、体験型のふるさと再生を果たしていきます。</p>
<p>風景の創景事業</p>	<p>－分野を超えた人材の結集による被災地の未来風景の創造</p> <p>津波によって破壊された現在でもなお残る美しい東北の風景、生活を記録し、地域社会と密接に結びついた生活環境の未来創造の基盤とするために、被災地をめぐるながら、地域と共に直接現在の環境と生活、習慣、芸能、伝承を記録するデータ集積事業を行います。</p> <p>3.11 以後の被災地社会の現状を記録するとともに、実情に即したデータ分析を行った上で、日本を代表する建築、都市計画、文化マネジメント、映像表現の専門家による仮想的な未来風景の理想像を提唱し、今後の復興の原風景づくりに貢献できると考えています。</p>